

分野	授業科目	単位 (時間)	進度	担当
専門分野	地域・在宅看護概論	1 (30)	2年前期	開田ひとみ 実務経験あり
科目目的	1. 地域で生活しながら療養する人々を理解し、地域・在宅看護の基本倫理と理念に基づき地域・在宅看護の目的や役割について考えを深めることができる。 2. 地域・在宅看護の制度と関連職種との連携を理解し、看護の継続性の視点と役割を学ぶ。			
科目目標	1. 在宅療養者と家族を理解し、地域・在宅看護の目的や役割を理解できる。 2. 地域・在宅看護の制度やシステムを知り、地域・在宅看護活動の内容を理解できる。 3. 在宅療養者と家族を生活者として捉え、地域・在宅看護の役割を考えることができる。			
単元名	教育内容	時間	教育方法	担当
1. 地域・在宅看護の目的と看護の役割	1) 地域療養を支える地域・在宅看護 (1) 地域看護と在宅看護の関連 (2) 地域・在宅看護活動の場と対象 (3) 日本の在宅看護の歴史と現状 (4) 在宅療養移行支援 (退院支援・退院調整)・地域連携システム 2) 在宅療養者に提供する地域・在宅看護の特徴 (1) 生活の質 (QOL) を支える活動 (2) ACPにより意思決定支援 (自律・自立支援) 3) 地域・在宅看護における倫理と基本理念 (1) 在宅療養者への安全・安心の保障と倫理 (2) 基本理念 (アドボカシー、エンパワメント、パートナーシップ、システム、ヘルスプロモーション)	10	講義	開田
2. 地域・在宅看護の対象の特徴	1) 在宅療養者の特徴 (1) 年齢、疾患、障害、介護度 (2) 訪問看護制度の経緯からみた対象者 (3) 在宅療養の成立条件 2) 在宅療養生活と家族への支援 (1) 在宅看護の対象者としての家族 (2) 家族アセスメントと支援	6	講義	
3. 地域・在宅看護の制度と関連職種との連携	1) 介護保険制度 (1) 介護保険の被保険者 (2) 介護サービスの利用 給付の内容、各種サービス、緊急通報、住宅改修 (3) 介護予防 2) 訪問看護制度 (1) 訪問看護の利用者 (医療保険・後期高齢者医療・介護保険) (2) 訪問看護の内容と利用の流れ (3) 訪問看護に関する費用、報酬 3) 地域包括支援センターの機能と役割 (1) 地域包括ケアシステム (2) ケアマネジメントと看護 4) 関係職種との連携 (1) 関係職種と機関 (2) 関連職種との連携・協働 (3) チームケアにおける看護の役割	12	講義	
4. まとめと試験		2		
テキスト／その他の教材	系統看護学講座 「地域・在宅看護の基盤」「地域・在宅看護の実践」 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (100点) とレポートなどから総合的に評価する。			